

CASBEE®-ウェルネスオフィス | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-WO_2021(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 評価パターン	
建物名称	熱田A3棟	階数	地上3F
建設地	愛知県名古屋市長久区	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	195 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,976 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	設計段階(実施設計・施工)評価
竣工年	2025年4月 竣工	評価の実施日	2024年12月26日
敷地面積	5,639 m ²	作成者	株式会社日建設計
建築面積	2,150 m ²	確認日	2024年12月26日
延床面積	4,426 m ²	確認者	株式会社日建設計
		評価対象	パターン3
		1-3 外観	
			

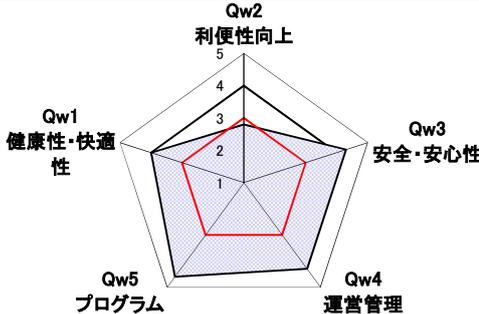
2-1 総合評価

Rank: S 82.1 /100



S ランク: ★★★★★ > 75
 A ランク: ★★★★☆ ≧ 65
 B+ランク: ★★★☆☆ ≧ 50
 B-ランク: ★★☆☆☆ ≧ 40
 C ランク: ★☆☆☆☆ < 40

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

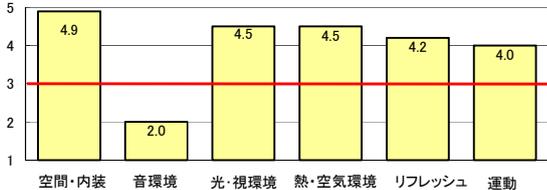


2-3 中項目の評価(バーチャート)

基本性能

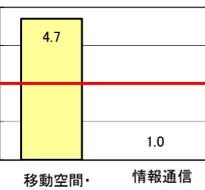
Qw1 健康性・快適性

Score: 4.0



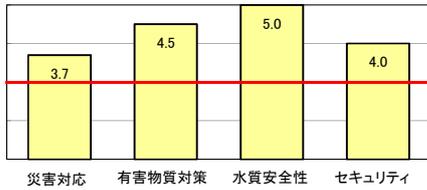
Qw2 利便性向上

Score= 2.8



Qw3 安全・安心性

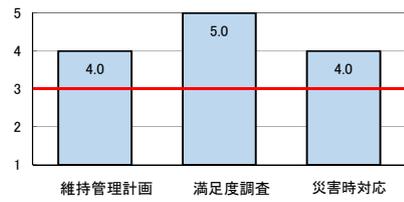
Score= 4.3



運用管理

Qw4 運営管理

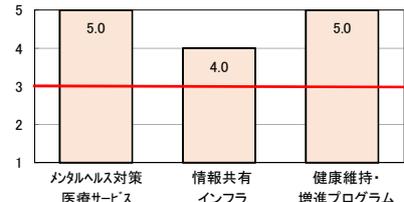
Score 4.3



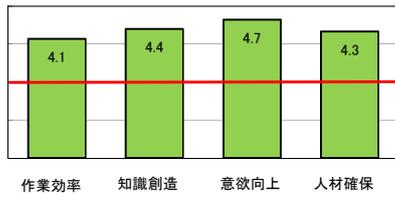
プログラム

Qw5 プログラム

Score = 4.6



参考: 知的生産性の視点に基づいた評価



3 設計上の配慮事項		
<p>総合 愛知県名古屋市にある事務所である。 自然素材を多用する内装計画、ワーカーの知的生産性を高めるスペースの計画を行っている。 吹抜けによる上下階の移動の促進や多様な打合せスペースの計画により、コミュニケーションが生まれやすい空間の創出を行っている。</p>		
<p>Qw1 健康性・快適性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内に植栽を計画し、対象室内のどこからでも自然を感じることができる。 ・多様なニーズに応える複数タイプのリフレッシュスペースが設置されている。 	<p>Qw2 利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カフェコーナーにカウンターを設置し、立ち話などの気軽な会話を誘発する工夫を行っている。 ・EV利用の快適性に配慮している。 	<p>Qw3 安全・安心性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害物質の少ない室内環境に配慮している。 ・水質安全対策を満たしている。
<p>Qw4 運営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持保全計画および中長期保全計画がある。 ・入居者アンケートを定期的実施し、改善策に活用する計画がある。 	<p>Qw5 プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康維持・増進を促進するプログラムを行っている。 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> -

CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版		バージョン CASBEE-WO_2021(v1.1)
熱田A3棟		欄に数値またはコメントを記入
スコアシート		
配慮項目	環境配慮の概要記入欄	
総合評価		
Qw1 健康性・快適性	4.2	
1 空間・内装	4.0	
1.1 レイアウトの柔軟性	1.1.1 空間の形状・自由さ	開放的な執務空間がプランニング可能
	1.1.2 荷重のゆとり	床積載荷重は3,500N/m ²
	1.1.3 設備機器の区画別運用の変換性	レイアウト変更に対応した運用が可能
1.2 知的生産性を高めるワークスペース	知的生産性を高めるレイアウト、多様な設えの計画	
1.3 内装計画	1.3.1 専有部の内装計画	内観パースを作成し、内装計画を検討している
	1.3.2 共用部の内装計画	バイオフィリックデザインに配慮した内装の実現
1.4 作業環境	1.4.1 オフィス仕器の機能性・選択性	ワーカークの作業環境に配慮している
	1.4.2 OA機器等の充実度	フロア内にWi-Fi環境を整備している
1.5 広さ	ワーカークの働き方の多様性を考慮している	
1.6 外観デザイン	まちなみへの調和、緑化による良好な景観形成	
2 音環境	2.0	
2.1 室内騒音レベル	3.0	
2.2 吸音	1.0	
3 光・視環境	4.5	
3.1 自然光の導入	開口率20%以上	
3.2 グレア対策	3.2.1 開口部のグレア対策	スクリーンと庇の組合せにより段階的なグレア対策が可能
	3.2.2 照明器具のグレア対策	水平方向から見て光源が露出しないようにグレアを制限している
3.3 照度	300lx以上500lx未満	
4 熱・空気環境	4.5	
4.1 空調方式及び個別制御性	床吹出方式の採用、ゾーン単位での空調調整が可能	
4.2 室温制御	4.2.1 室温	3.0
	4.2.2 外皮性能	BPI=0.70
4.3 湿度制御	加湿機能および除湿機能を有する	
4.4 換気性能	4.4.1 換気量	換気量:30m ³ /h人
	4.4.2 自然換気性能	自然換気窓の自動制御システムを導入
5 リフレッシュ	4.2	
5.1 オフィスからの眺望	天井高:4.2m、屋外の情報を得られる窓の設置がある	
5.2 室内の植栽・自然とのつながり	植栽を計画し、室内のどこからでも自然を感じることができる	
5.3 室外(敷地内)の植栽・自然とのつながり	建物利用者が生物とふれあい自然に親しめる環境や施設等を確保	
5.4 トイレの充足性・機能性	多様な利用者を意識した設計	
5.5 給排水設備の設置自由度	3.0	
5.6 リフレッシュスペース	多様なニーズに応える複数タイプのリフレッシュスペースの設置	
5.7 食事のための空間	快適な食事や軽食を取れるスペースの設置	
5.8 分煙対応、禁煙対応	2.0	
6 運動	4.0	
6.1 運動促進・支援機能	3.0	
6.2 階段の位置・アクセス表示	階段の使用を促進する取組み、吹抜け階段の設置	
Qw2 利便性向上	2.8	
1 移動空間・コミュニケーション	4.7	
1.1 動線における出会いの場の創出	共用部にカフェスペースの設置、専有部に吹抜空間を計画	
1.2 EV利用の快適性	5分間輸送能力が11%以上かつ平均運転間隔が40秒以下	
1.3 バリアフリー法への対応	建築物移動等円滑化基準を満たす	
1.4 打ち合わせスペース	打ち合わせ内容に応じた空間の選択が可能	
2 情報通信	1.0	
2.1 高度情報通信インフラ	1.0	

Qw3 安全・安心性			4.3
1 災害対応			3.7
1.1 耐震性	1.1.1 躯体の耐震性能	建築基準法に定められた耐震性の25%増の耐震性を有する	4.0
	1.1.2 免振・制振・制震性能		3.0
	1.1.3 設備の信頼性	受電設備の二重化を行っている	5.0
1.2 災害時エネルギー供給			3.0
2 有害物質対策			4.5
2.1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材を採用	4.0
2.2 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法に該当しない建材を4種以上採用	5.0
2.3 有害物質の既存不適格対応	2.3.1 アスベスト、PCB対応		-
	2.3.3 土壌汚染等対応		-
3 水質安全性			5.0
3.1 水質安全性		水質安全対策を全て満たしている	5.0
4 セキュリティ			4.0
4.1 セキュリティ設備		監視カメラ、入退館理システムの設置がある	4.0
Qw4 運営管理			4.3
1 維持管理計画			4.0
1.1 維持管理に配慮した設計			3.0
1.2 維持管理用機能の確保			3.0
1.3 維持保全計画		事後保全・予防保全の実施し、計画の更新体制を確立する計画	5.0
1.4 維持管理の状況	1.4.1 定期調査・検査報告書		-
	1.4.2 維持管理レベル		-
1.5 中長期保全計画の有無と実行性		中長期保全計画、実施体制の確立	5.0
2 満足度調査			5.0
2.1 満足度調査の定期的実施等		入居者アンケートを定期的に実施し、改善策に活用する計画	5.0
3 災害時対応			4.0
3.1 BCPの有無		BCP計画を作成し更新する計画	4.0
3.2 消防訓練の実施		消防訓練の実施、AED訓練の実施	5.0
3.3 AEDの設置			3.0
Qw5 プログラム			4.6
1 メンタルヘルス対策、医療サービス		健康診断およびストレスチェックを行っており、受診率70%以上	5.0
2 情報共有インフラ		共用部でのWi-Fi接続が可能、安全にデータを社外に送信可能等	4.0
3 健康維持・増進プログラム		社内に運動を促進するためのクラブ活動がある等	5.0